

## うるし 漆工事 Vol.2

### ・漆を塗るための下準備 2020. 7. 20

漆を塗る前に、傷んだ箇所<sup>こくそ</sup>の補修を行います。亀裂した箇所<sup>きゆうし</sup>に用いる刻苧<sup>こくそ</sup>は、生漆<sup>きゆうし</sup>・米糊<sup>こめのり</sup>・檫粉<sup>けやきこ</sup>・綿<sup>わた</sup>を混ぜたもので、これを割れが深いところに埋めていきます。檫粉は水分を吸収し収縮するので、生漆と米糊に混ぜる前に<sup>いぶ</sup>燻り、刻苧の硬さを調節します。また、綿を使用することで刻苧を割れにくく、強固なものにします。刻苧は乾燥しやすいので、その日に使用する分しか作らず、空気に触れないように保存をします。

刻苧を埋める作業は竹べらを使用します。乾燥で収縮することを考慮して埋め、完全に乾いたら浮きあがっている部分を刃物で削ります。

次回は、柱を平坦にするために必要な下地作業について紹介します。



▲ 紫外線や風雨で傷んでしまっています



▲ 刻苧と生漆



▲ 木材の隙間も埋めていきます



▲ 少し高くなるように刻苧を埋めていきます